

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【名古屋産業大学】

＜教育課程審査＞

- ① 「教育心理学」のシラバスについて、コアカリキュラムに対応していることが判然としないため、コアカリキュラムの内容を取り扱っていることが明確になるように授業計画の内容を検討すること。

(対応)→	・「教育心理学」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」の内容に基づき全体的に内容を見直し、コアカリキュラムの対応表も修正した。(p1-2)
-------	---

- ② 「特別支援教育」のシラバスについて、コアカリキュラム(2)2)を取り扱っていることが判然としないため、授業計画においてコアカリキュラム(2)2)を取り扱っていることを明確にすること。

(対応)→	・「特別支援教育」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム(2)2)の内容に基づき授業計画を見直し、コアカリキュラム対応表も修正した。(p3-4)
-------	---

- ③ 「生徒・進路指導の理論と方法」のシラバスについて、授業計画の内容とコアカリキュラム対応表が不一致の箇所があるため対応関係を見直すこと。

(対応)→	・「生徒・進路指導の理論と方法」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム対応表との不一致の箇所を見直し、コアカリキュラム対応表も修正した。(p5-7)
-------	---

(記入例)

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【〇〇大学】

<教育課程審査>

- ① 授業科目「〇〇〇〇」のシラバスについて、〇〇〇など、事項「〇〇〇」に求められる内容を充実させること。

(対応)→	・「〇〇〇〇」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの1(2)の内容に基づき内容を見直し、〇〇〇について充実させた。(シラバス添付)
-------	---

- ② 授業科目「〇〇基礎論Ⅰ」、「同Ⅱ」の名称について、事項「〇〇〇の指導法」に対応した科目であることが不明瞭であるため、課程認定手引きの科目名称例を参考に、事項の内容を適切に表現した科目名称とすること。

(対応)→	・授業科目の名称を以下の通り修正する。 『〇〇基礎論Ⅰ』→『〇〇の指導法Ⅰ』 『〇〇基礎論Ⅱ』→『〇〇の指導法Ⅱ』
-------	---

- ③ 〇〇学科の定員に対し、「教職に関する科目」の担当専任教員の人数が1名不足しているため、補充を行うこと。

(対応)→	・「〇〇〇〇教員」を専任教員として新たに補充した。
-------	---------------------------

※記載欄が足りない場合は、適宜追加をして記載すること。